

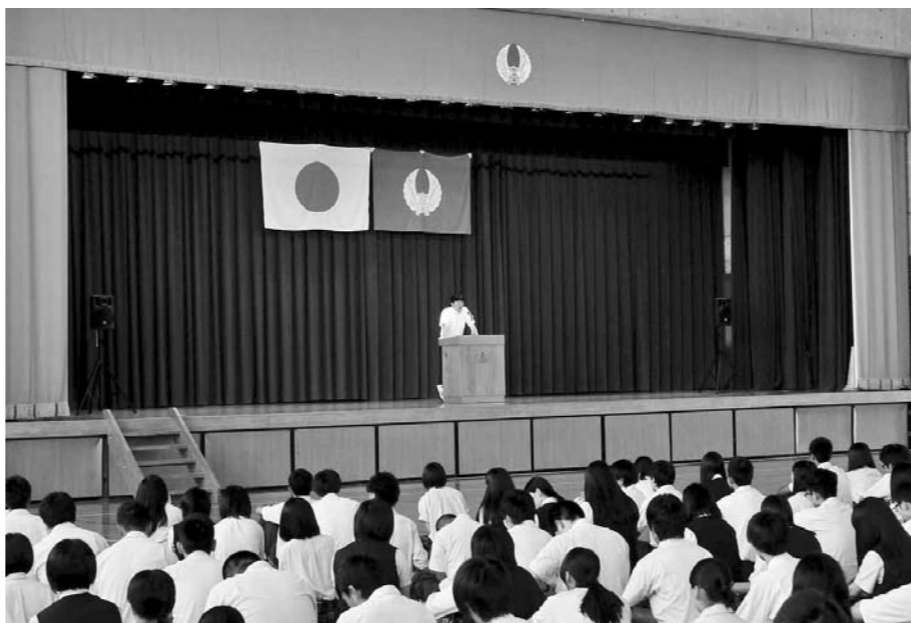
# 月刊 新翔タイムズ

第 87 号  
新翔タイムズ 編集室  
発行・熊野新聞社

## 行事に取り組み達成感を

### 2学期スタート

7月上旬の台風11号による臨時休校の補充措置として1日前倒しし、本年度2学期始業式は8月27日(木)に実施しました。



8月6日の登校日以来、大きな事件、事故もなく生徒はほぼ全員が元気に登校し体育館に集合。校歌斉唱に続く永石校長からの式辞では、3年生には、自分の可能性を信じて進路決定に挑戦してほしいこと、さまざまな学校行事に苦勞しながら取り組むことで達成感が得られること、また日ごろの営みが学校の特色となり、さらにその特色が学校の伝統に変わってゆくことなどが述べられました。

JRきのくに線不通による代替バスのスケジュール上、始業時間を8時50分にスライドするなど環境的不安定感はないが、始業式を通して改めて気を引き締め直した全校生徒が、



国体運営補助、体育祭、文化祭と行事が目白押し。2学期に向け、しっかりと地に足をつけて学校生活を再スタートさせ、またおなみなに目標と進路指導をより充実させるべく、

## 新翔アスリートの活躍に期待



### 紀の国わかやま国体開幕

9月26日(土)に開幕する、国民のスポーツの祭典、第70回国民体育大会(紀の国わかやま国体)に、本校からボウリング競技少年女子の部で1年1組赤田稀歌(まれ)さん、ラグビーフットボール成年男子の部で保健体育科の得津翔平先生が出場します。



### ボウリング競技少年女子 赤田稀歌さん

●ボウリング歴や始めたきっかけ、練習内容など  
小学校の時の夏休みの体験ボウリングがきっかけで始めました。最初は週2回でしたが、それが4回になりました。東宝ボウルで週4回、レーンに向かって何回も何回もボールを投げ、自分のフォームを確認し、よりストライクが出るように練習しています。



### ラグビーフットボール成年男子 得津翔平先生

●自身のラグビー歴、始めたきっかけ、ポジションなど  
高校からラグビーを始め、現在に至ります。きっかけは、ただ単純に興味本位です。小・中学校にはなく、あまりやったことのないスポーツだったので始めました。ポジションはフォワード全般。大学ではプロップでした。

## 各部新人戦等公式戦 大会の結果①

◎卓球部  
【和歌山県高等学校卓球選手権大会兼1年生大会】  
▽1年生大会  
・女子シングルス 第3位 内田 梓紗(1年1組)  
▽選手権大会  
・男子ダブルス  
ベスト16 楠本創士(2年3組)・山本啓人(1年5組)  
・女子シングルス ベスト16 内田梓紗(1年1組)  
1年生大会では3位入賞と大健闘。新チーム初の大会でしっかりと結果を出し、次につながる好スタートとなりました。

◎硬式野球部  
【県下高校野球新人戦】  
▽1回戦 8月23日(日)  
○8-5 対串本古座高校 県営紀三井寺球場  
▽2回戦 8月27日(木)  
○6-4 対南部高校 田辺スポーツパーク  
▽3回戦 8月31日(月)  
●2-4 対南部龍神 千里丘球場  
【近畿地区秋季高校野球大会県一次予選】  
▽2回戦 9月13日(日)  
●5-11 対日高中津 田辺市グリーングラウンド  
最少人数の9人で挑んだ秋の公式戦。打撃面ではしっかり力を発揮できたものの、守備面での精度を高めないおし春に向け再チャレンジします。

◎女子バレーボール  
【紀南7校リーグ】  
▽8月29日(土)、30日(日)  
●0-2 対神島、●0-2 対田辺、○2-0 対串本古座  
▽順位決定戦 ●0-2 対田辺  
ポジションを固定しての初めての大会。メンタル面での充実ぶりはみられましたが、技術面で改めてしっかり鍛え10月の新人戦に挑みたいですね。

●自身はラグビー歴、始めたきっかけ、ポジションなど  
高校からラグビーを始め、現在に至ります。きっかけは、ただ単純に興味本位です。小・中学校にはなく、あまりやったことのないスポーツだったので始めました。ポジションはフォワード全般。大学ではプロップでした。

## 生徒会長に池尻泰基君 後期生徒会役員選挙



9月10日(木)6限、体育館にて後期生徒会役員改選の立ち会い演説会と信任投票が行われ、2年池尻泰基君が新生徒会長に、2年星山瑞希さんと2年峯山杏里さんの2人が新副会長にそれぞれ就任することが決定しました。

## さまざまな角度から意見

### 第1回学校評議員会



9月15日(火)午後、5人の評議員の参加をい た。本年度第1回学校評議員会を開催しました。公開授業では、足早にありましたが、5時間目には展開中の全クラスに授業を参観、生徒達の日々の授業への取り組みの様子の一環を見ていただきました。その後は応接室に場所を移し、学校側からはおもに進路指導面と生活指導面から新翔高校の現状や課題を報告。評議員の方々からは「生徒たちがたいへん落ち着いて授業を受けられている」といった評価をいただき、「地域との結びつきを強めるためにも、ボランティア活動なども含めた意欲的な活動」を期待されました。